

# K&Oエナジーグループ株式会社 個人投資家向け説明会

---

2026年5月23日開催



証券コード 1663

# 目次

---

1. グループの概要・・・3
2. 業績の概要等・・・ 18
3. グループの取り組み(トピックス)・・・ 25
4. まとめ・・・28

# 目次

1. グループの概要・・・3
2. 業績の概要等・・・ 18
3. グループの取り組み(トピックス)・・・ 25
4. まとめ・・・28

商号	K&Oエナジーグループ株式会社
本店所在地	千葉県茂原市茂原661番地
設立日	2014年1月6日
代表者	代表取締役 社長執行役員 緑川 昭夫
資本金	80億円
上場取引所	東京証券取引所 プライム市場（証券コード1663）
事業目的	ガス事業、ヨウ素事業等を行う子会社等の経営管理及びこれらに附帯又は関連する一切の事業
売上高構成比	【ガス事業】約74% 【ヨウ素事業】約17% 【その他】約9%
決算期	12月31日
発行済株式総数	28,336,061株
従業員数	691名（連結2025年12月末）

【ガス事業】 …天然ガスの採取・販売、都市ガスの供給・販売、LPガスの販売、圧縮天然ガスの製造・販売

【ヨウ素事業】…ヨウ素及びヨウ素化合物の製造・販売、かん水の販売

【その他】 …電気の販売、ガス機器等の販売、建設業、地熱井等の掘削等

# 1-2当社グループの構成

「ガス事業」として、天然ガスの生産から都市ガス供給までを一貫して行っています。また「ヨウ素事業」として、ヨウ素の製造・販売等を行っています

## 当社の連結子会社

会社名	関東天然瓦斯開発(株)	大多喜ガス(株)	K&Oヨウ素(株)	(株)WELMA
主な事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 天然ガスの生産・販売</li> <li>● かん水の販売</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 都市ガスの供給・販売</li> <li>● LPガスの販売</li> <li>● 圧縮天然ガスの製造・販売</li> <li>● 電気の供給・販売</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ヨウ素の製造・販売</li> <li>● ヨウ素化合物の製造・販売</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 地熱井等の掘削</li> </ul>
イメージ画像	 <p>ガス井</p>	 <p>ガスホルダー</p>	 <p>ヨウ素製造設備</p>	 <p>櫓(やぐら)</p>

# 1-3当社グループのあゆみ①



天然ガス事業を創業

東証に上場

東証一部に指定替え

大多喜ガスが東証二部に上場

K&Oエナジーグループを設立(東証一部)



創業期のガス井戸が猛噴する様子



関東天然瓦斯開発(株)



大多喜ガス(株)

# 1-4当社グループのあゆみ②



櫓(やぐら)



完全閉鎖型植物工場におけるレタス類の栽培



ヨウ素製造設備

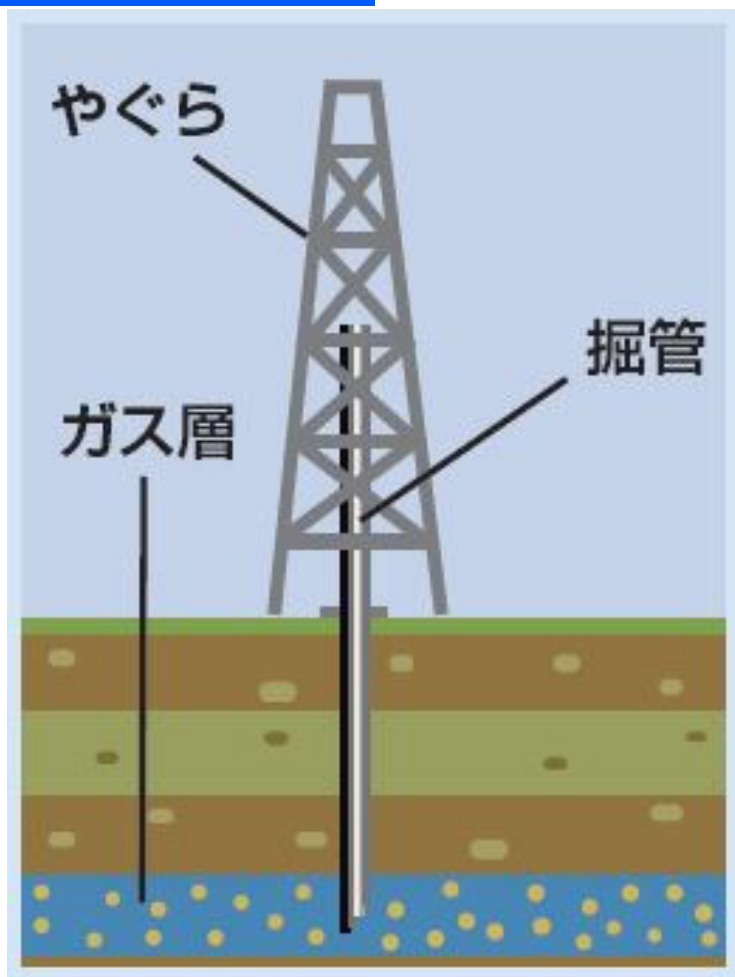
## 1-5昭和18年当時のフィルム上映(5分弱)

- ・古い記録なので、フィルムが途中で切れたり、音声が聞きづらいところがございます
- ・戦時中のエネルギー事情や当時の生活の様子がご覧いただけます

## 1-6【参考】ガス井掘さくイメージ図

一般的なガス井では、ロータリー式さく井機を使用し、地中500～2,000メートル位の深さのガス層まで掘さくを行います

### ガス井掘さくイメージ図

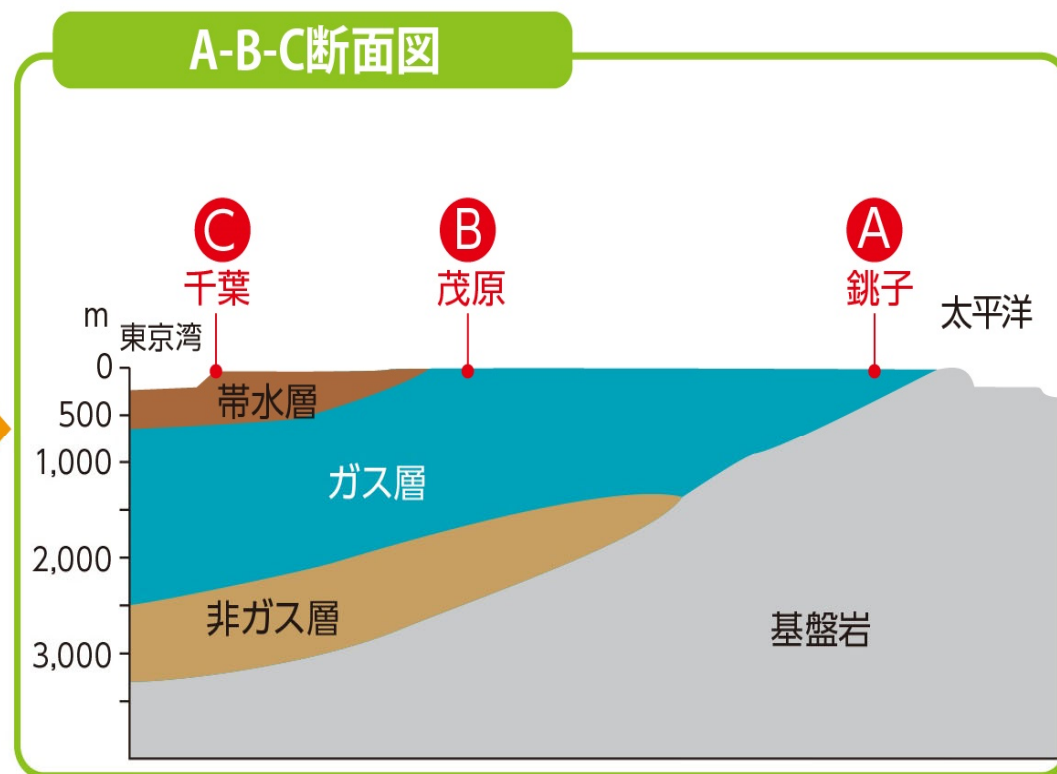


ガス層には、天然ガスが、地下水（「かん水」という塩分を含んだ太古の海水）に溶け込んだ形で存在しています。

# 1-7南関東ガス田①

「南関東ガス田」は国内最大の水溶性天然ガス田です

当グループの主な採取地域および  
県産天然ガス主要ガスパイプライン



## 1-8南関東ガス田②

「南関東ガス田」のうち、当社グループ鉱区内における可採埋蔵量等

### ガス可採埋蔵量

- 約1,100億 $m^3$ 
  - 現在の生産量で計算すると約600年分の埋蔵量

### ヨウ素可採埋蔵量

- 約64万t
  - 現在の生産量で計算すると約400年分の埋蔵量

### 参考

国内天然ガス年間生産量 : 約18.8億 $m^3$ (2024年度)  
国内ヨウ素年間生産量 : 約 1.0万t(2024年1月～12月/一部推定値)  
世界ヨウ素年間生産量 : 約 3.5万t(2024年1月～12月/一部推定値)

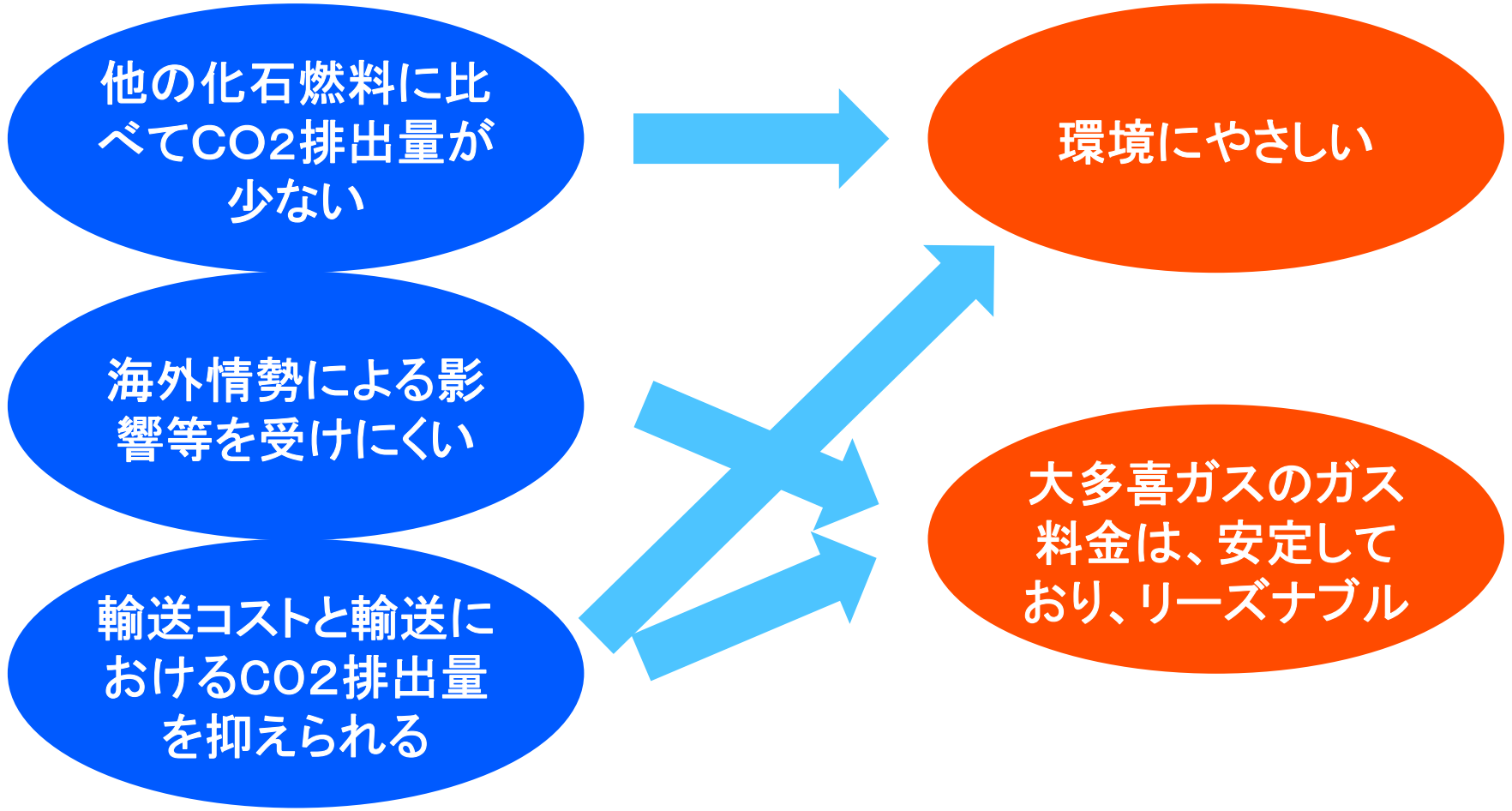
注: 当社グループのガス年間生産量は約1.8億 $m^3$ (2025年実績)、ヨウ素年間生産量は約1.7千t(2025年実績)

注: 「参考」は当社調べ

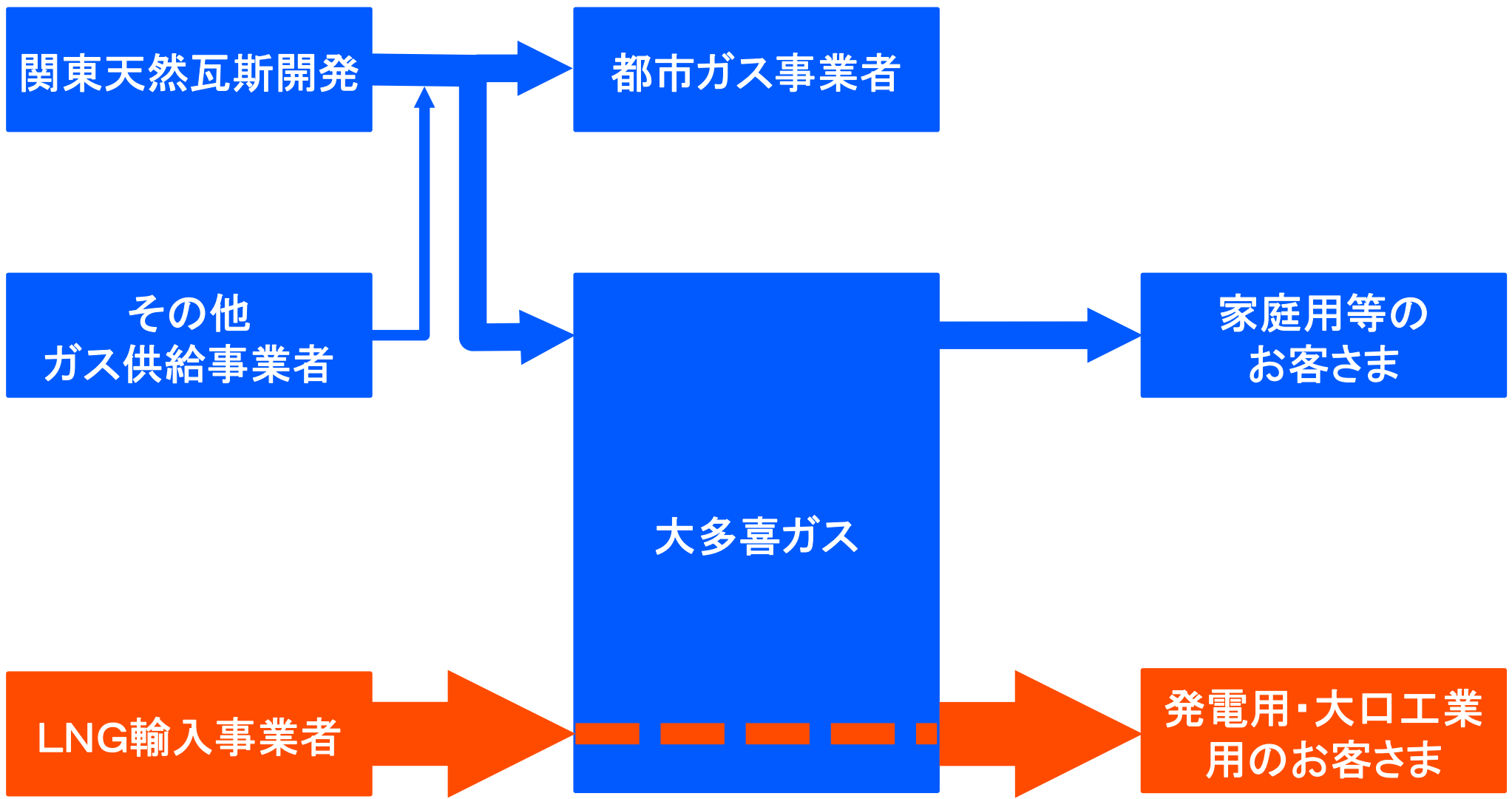
# 1-9千産千消(地産地消)天然ガス

天然ガスを千葉県で産出して千葉県で消費する、いわゆる千産千消を行っています

## 千産千消天然ガスのメリット



# 1-10当社グループのガスの流れ(簡略図)

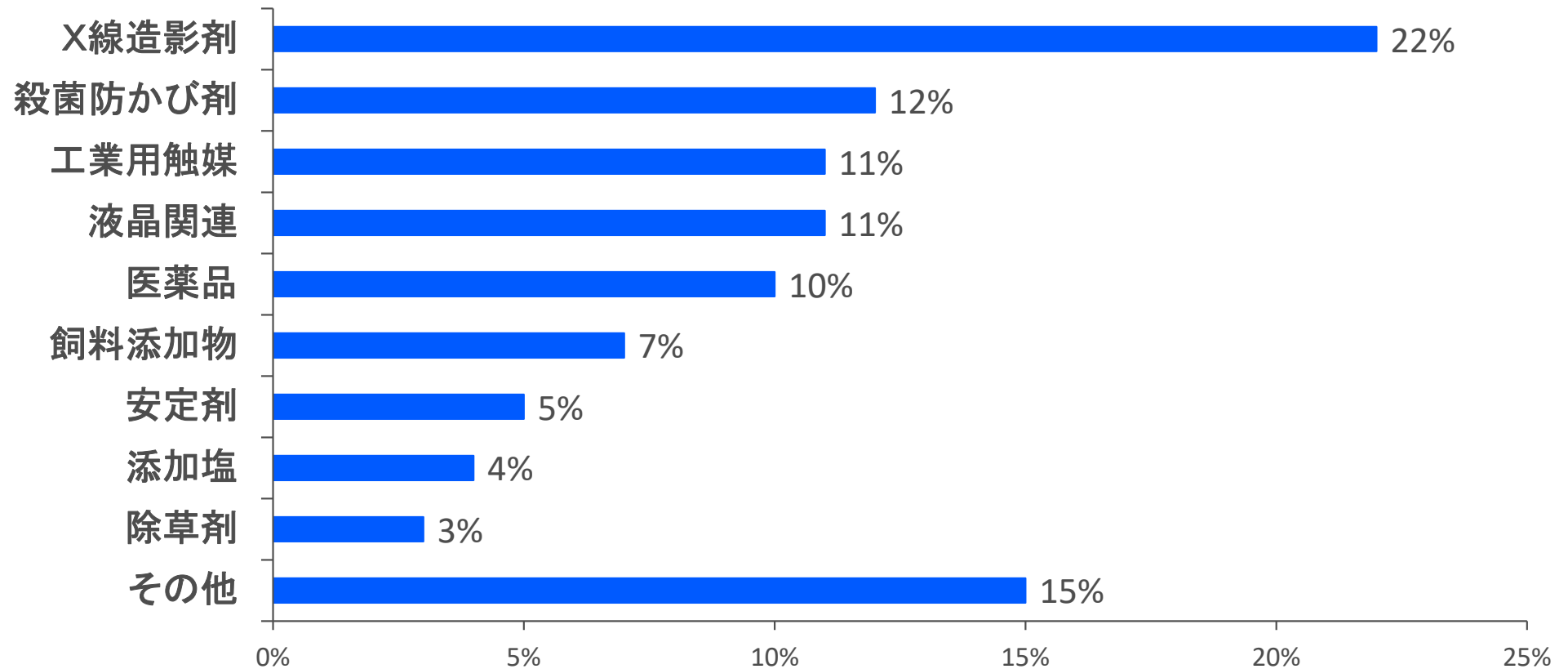


注:上記の図は、当社グループの都市ガスの流れを簡略化したイメージ図です。

# 1-11ヨウ素の用途

ヨウ素の用途は多岐にわたっています

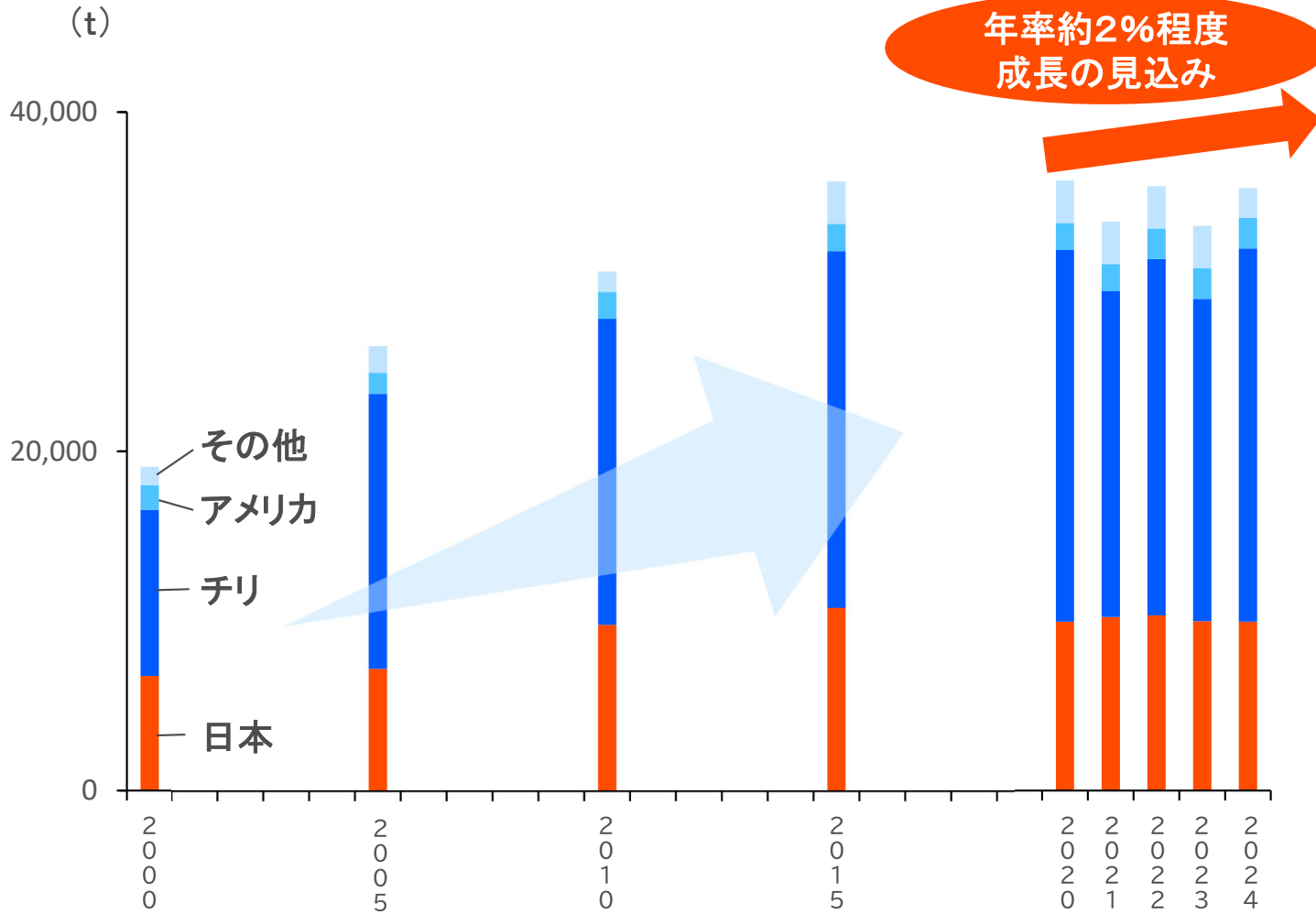
## 世界におけるヨウ素の用途別需要割合



# 1-12世界のヨウ素生産量

ヨウ素の需要拡大に伴い、ヨウ素の生産量も増加しています

## 世界のヨウ素生産量の推移



## ヨウ素製品

プリル品

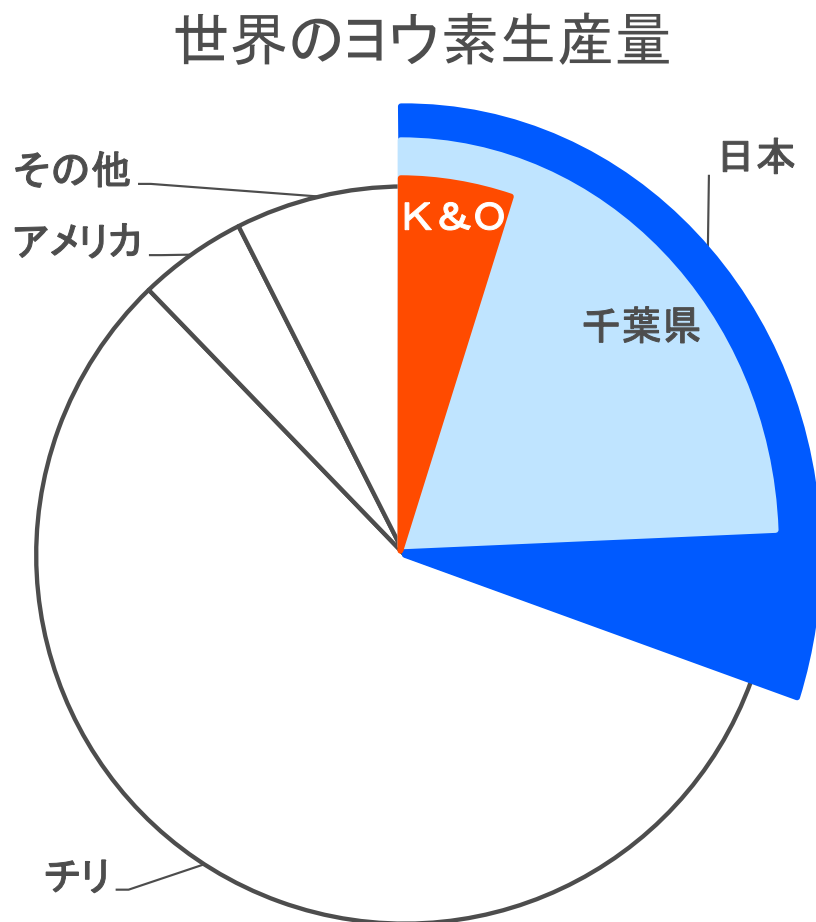


フレーク品



# 1-13当社グループのヨウ素生産量

当社グループでは世界のヨウ素生産量の約5%を生産しています



## 世界における 日本の生産量シェア

- 日本は第2位(約3割)
- 商業レベルでの日本のヨウ素埋蔵量は第1位(約8割)

## 日本における 千葉県の生産量シェア

- 千葉県は国内の約8割を生産

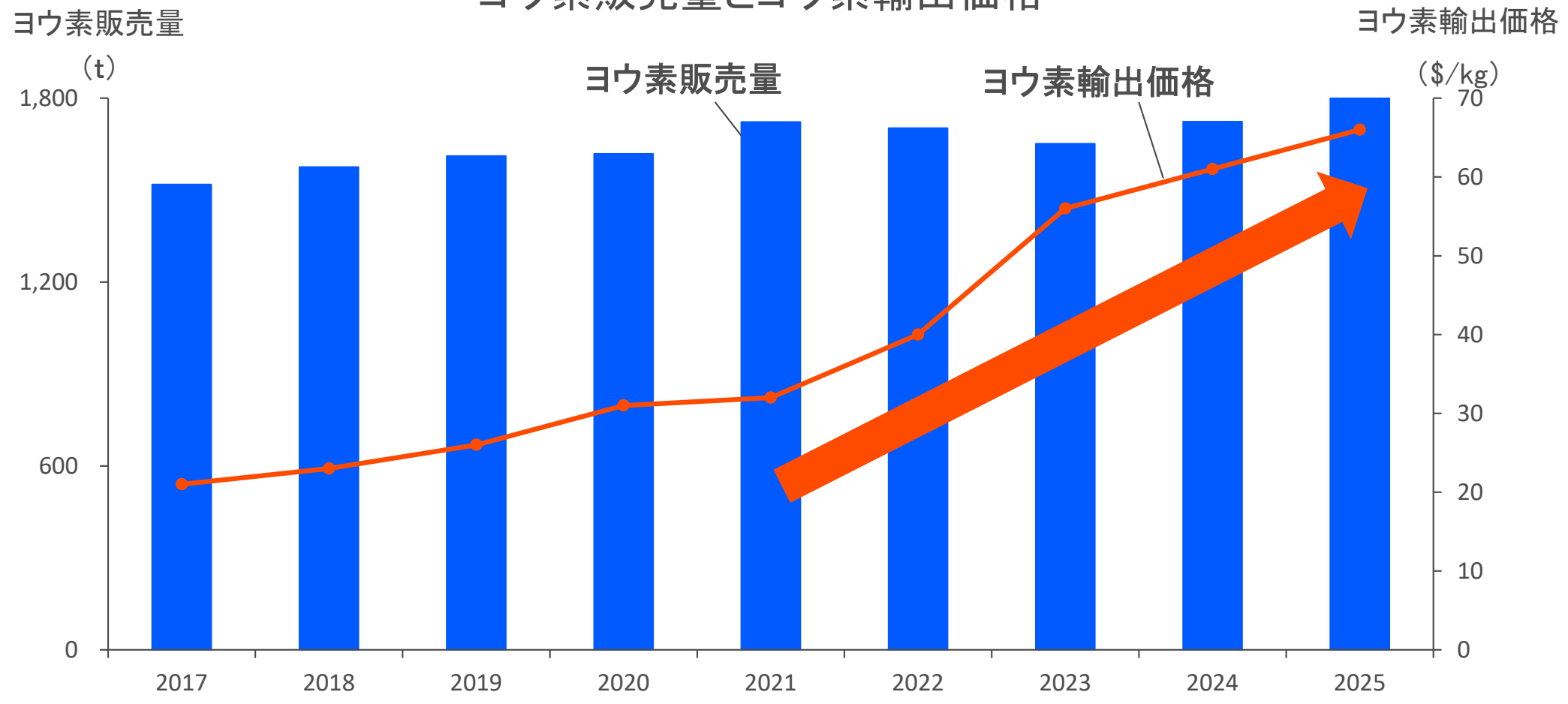
## 世界・日本における 当社グループの生産量シェア

- 当社グループは世界シェア約5%、国内シェア約15%

# 1-14ヨウ素販売量とヨウ素輸出価格

ヨウ素販売量(当社グループ)は安定的に推移しており、ヨウ素輸出価格(国内企業の平均)は上昇傾向にあります

## ヨウ素販売量とヨウ素輸出価格



注: ヨウ素販売量には、ヨウ素のほか、ヨウ化カリウムも含まれています。 ヨウ素輸出価格は輸出通関統計価格をもとに当社で算出。

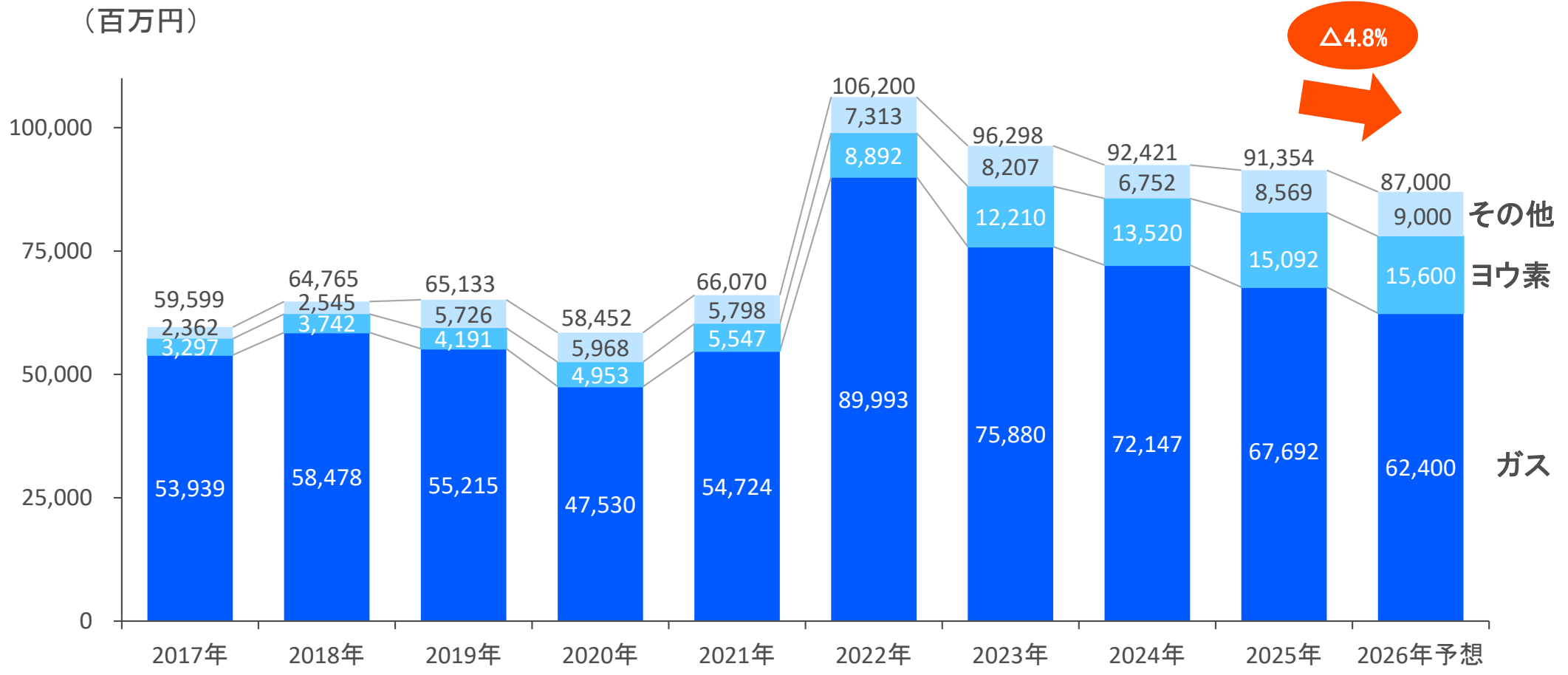
# 目次

1. グループの概要・・・3
2. 業績の概要等・・・ 18
3. グループの取り組み(トピックス)・・・ 25
4. まとめ・・・28

# 2-1売上高の実績と予想

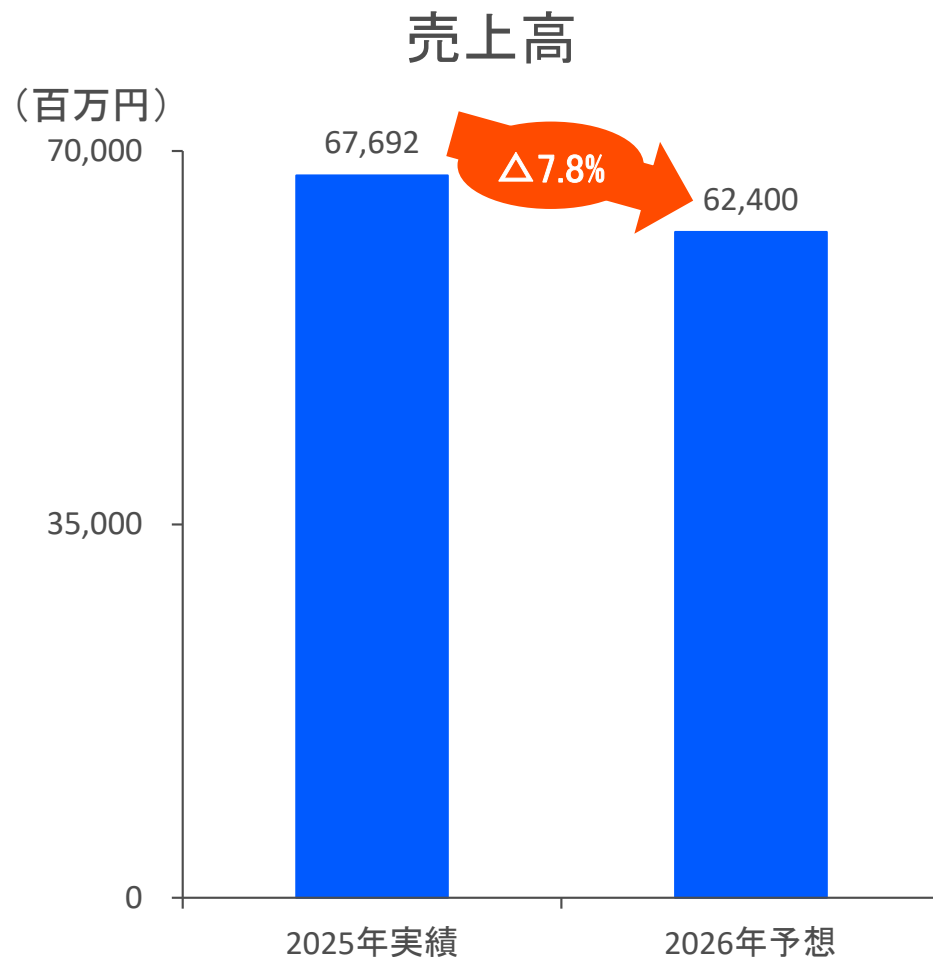
ヨウ素販売量が増加するものの、輸入エネルギー価格の影響によるガス販売価格の低下を見込むことなどにより、売上高は4.8%減少の87,000百万円と予想します

## 売上高



## 2-2 2026年業績予想 【ガス事業：売上高】

輸入エネルギー価格の影響によるガス販売価格の低下を見込むことなどにより、売上高は7.8%減少の62,400百万円と予想します



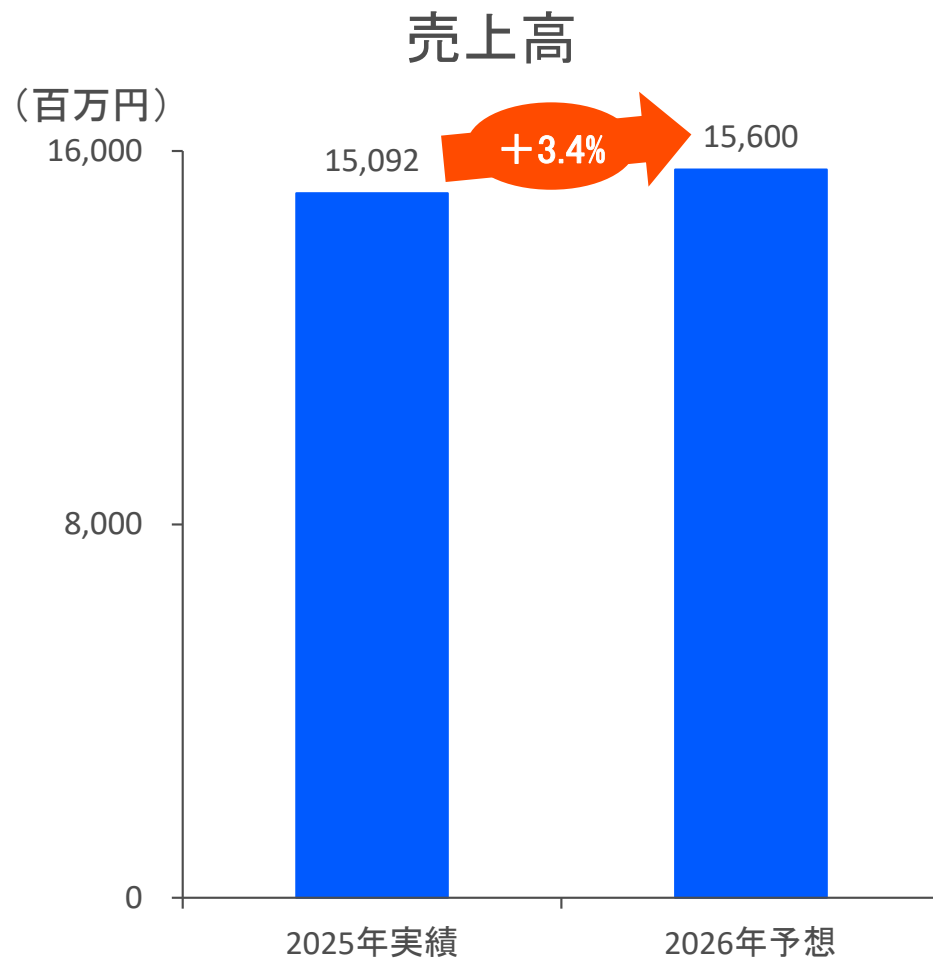
### 売上高の主な減少要因

△ 輸入エネルギー価格の影響によりガス販売価格が低下

△ LNG-CIF適用価格：  
2025年実績 89千円/t  
→2026年予想 80千円/t

## 2-3 2026年業績予想 【ヨウ素事業：売上高】

販売量の増加を見込むことなどにより、売上高は3.4%増加の15,600百万円と予想します



### 売上高の主な増加要因

◎ 販売量増加

※ 為替レート：横ばい  
2025年実績  
149円/\$ (TTB)  
→2026年予想  
149円/\$ (TTB)

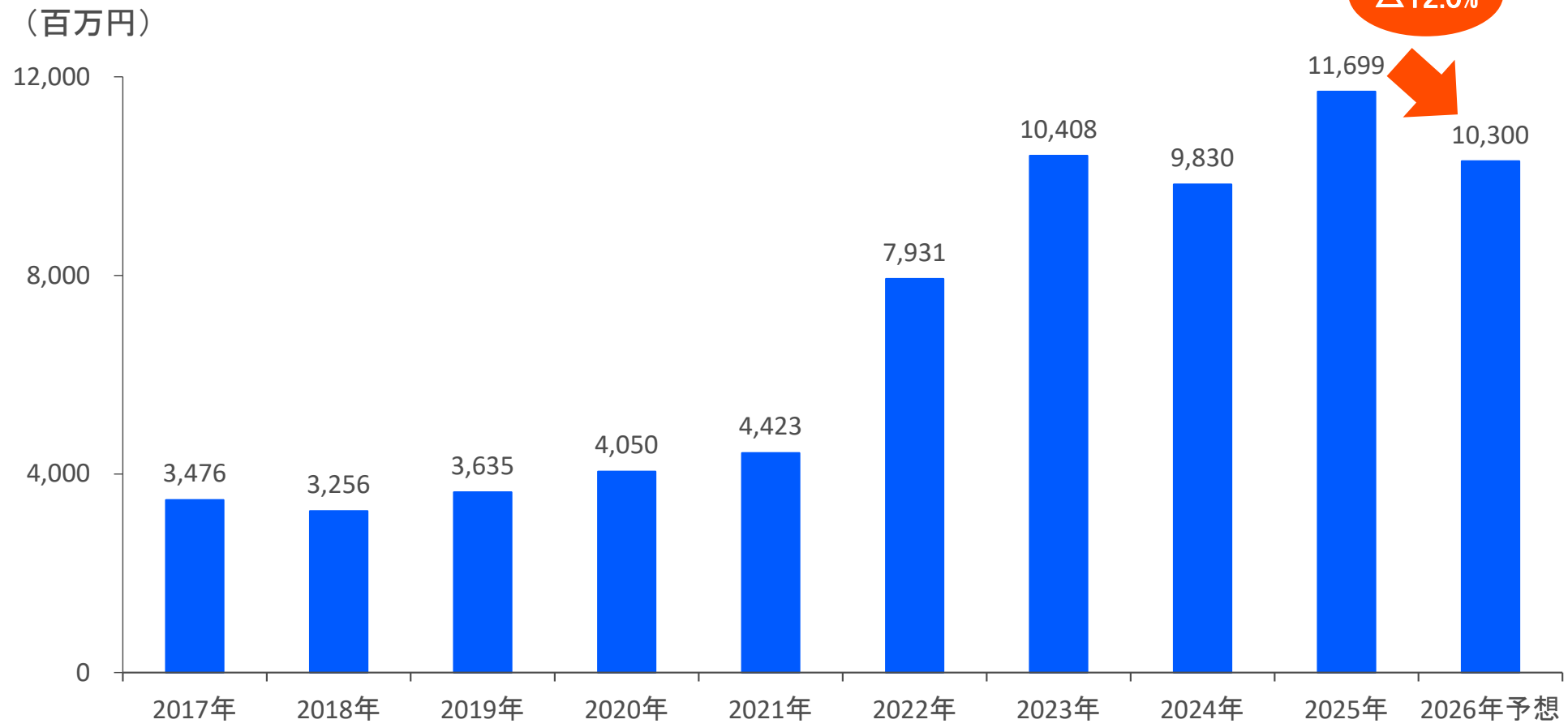
※ 輸出建値(\$)ほぼ横ばい

注：売上高には、ヨウ素、ヨウ化カリウムのほか、かん水の売上高も含まれています。

## 2-4 経常利益の実績と予想

2026年の経常利益は、ヨウ素製造設備の減価償却費の増加や地熱調査費の増加による営業利益の減少を見込むことなどにより、12.0%減少の10,300百万円と予想します

### 経常利益



## 2-5株式分割

当社は、以下のとおり、株式分割を実施する予定です（本年5月13日開催の取締役会において決議、同日公表）

### 目的

- 当社株式の投資単位当たりの金額を引き下げる
  - ↳ 投資家の皆様が当社株式に、より投資しやすい環境を整える
  - ↳ 当社株式の流動性の向上と投資家層の拡大を図る

### 概要

- 株式分割の割合：普通株式1株につき2株
- 株式分割基準日：6月30日（火）
- 効力発生日：7月1日（水）

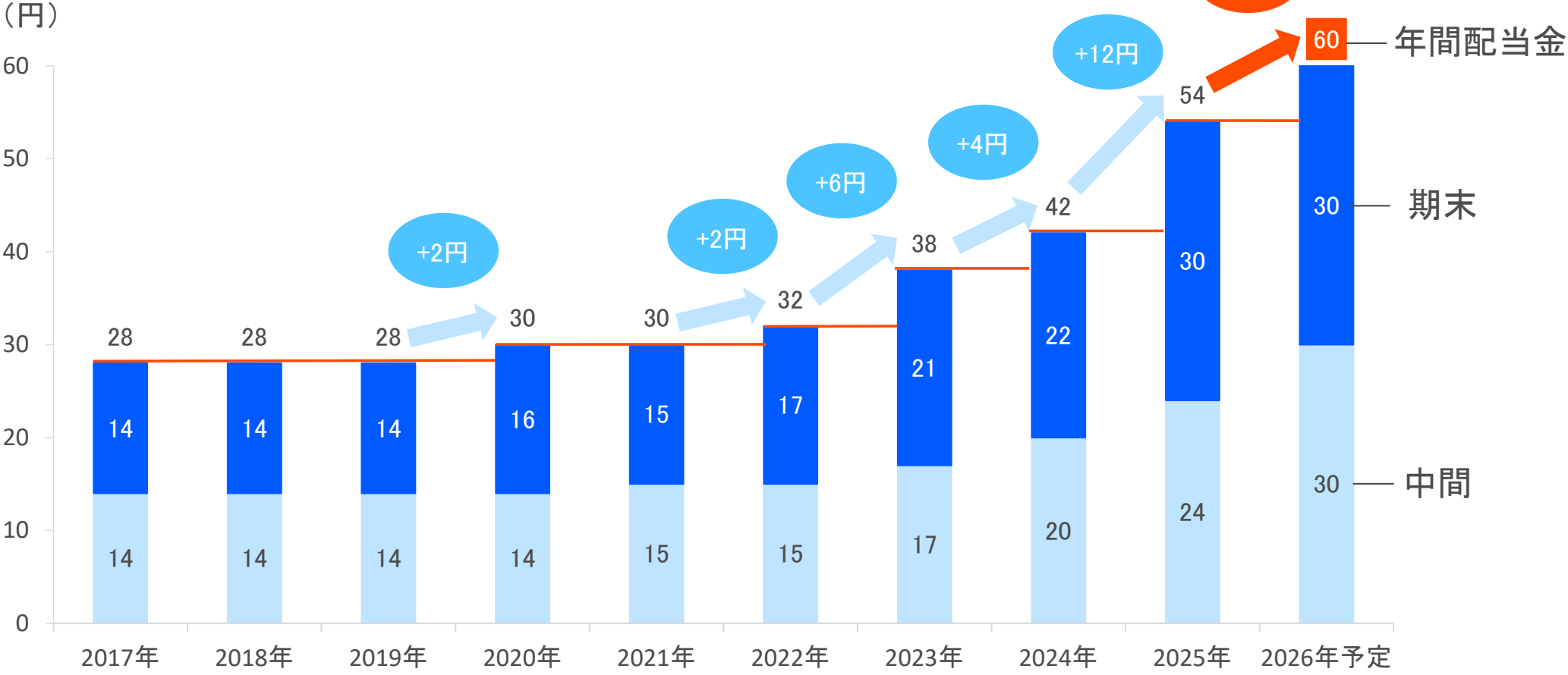
### その他

- 配当予想の修正の公表（上記の株式分割に伴う修正であるため、1株当たりの予想配当金における実質的な変更なし）
- 株式分割前ベースでの年間配当金は1株当たり60円の予想

# 2-6配当金(株式分割前ベース)

中長期の連結業績及びフリー・キャッシュフロー等を総合的に勘案し、継続的な安定配当による株主還元の充実を目指します。株式分割前ベースでの年間配当金は、当該方針に基づき、業績予想も勘案の上、昨年から6円増額の年間配当金60円の予想です

### 1株当たり配当金



# 目次

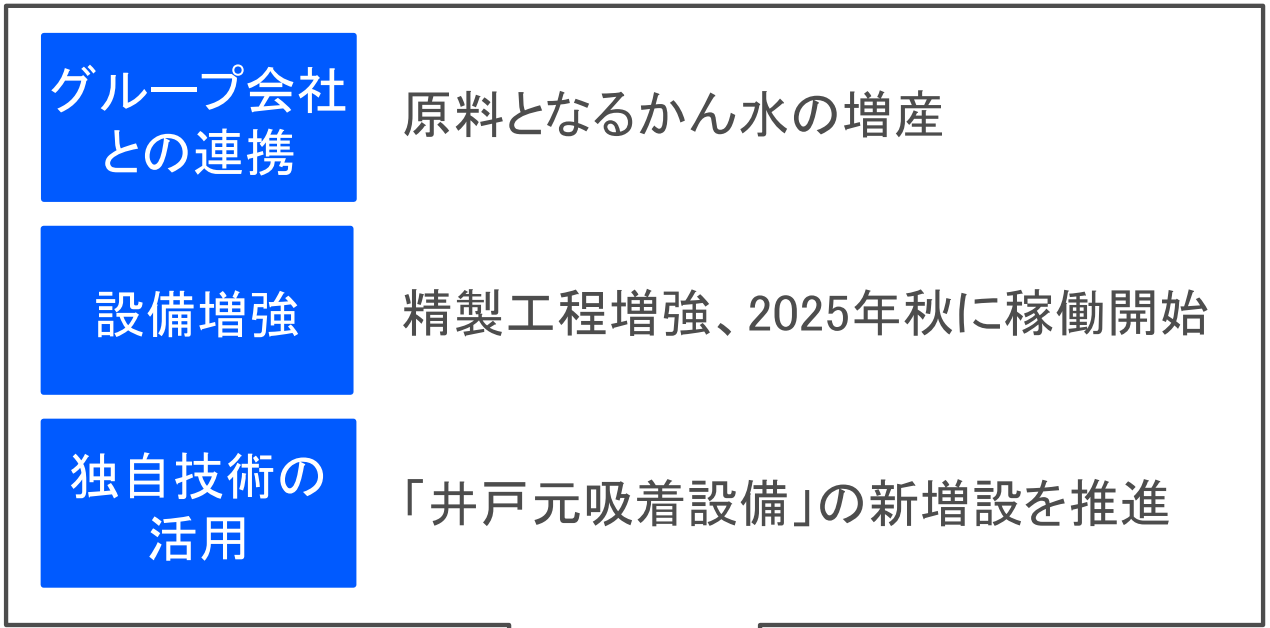
1. グループの概要・・・3
2. 業績の概要等・・・ 18
3. グループの取り組み(トピックス)・・・ 25
4. まとめ・・・28

# 【トピックス】ヨウ素増産への取組み ～供給基盤の拡充を推進～

当社のグループ会社であるK&Oヨウ素(株)は、世界シェア約5%を占める国内有数のヨウ素サプライヤーです。

ヨウ素市場の成長が予想されるなか、ペロブスカイト太陽電池などの新規用途に対しても確実な原料供給を通じて貢献するとともに、今後も世界的に希少な資源であるヨウ素の需要拡大に役立ててまいります。

## 世界的なヨウ素需要の拡大への対応



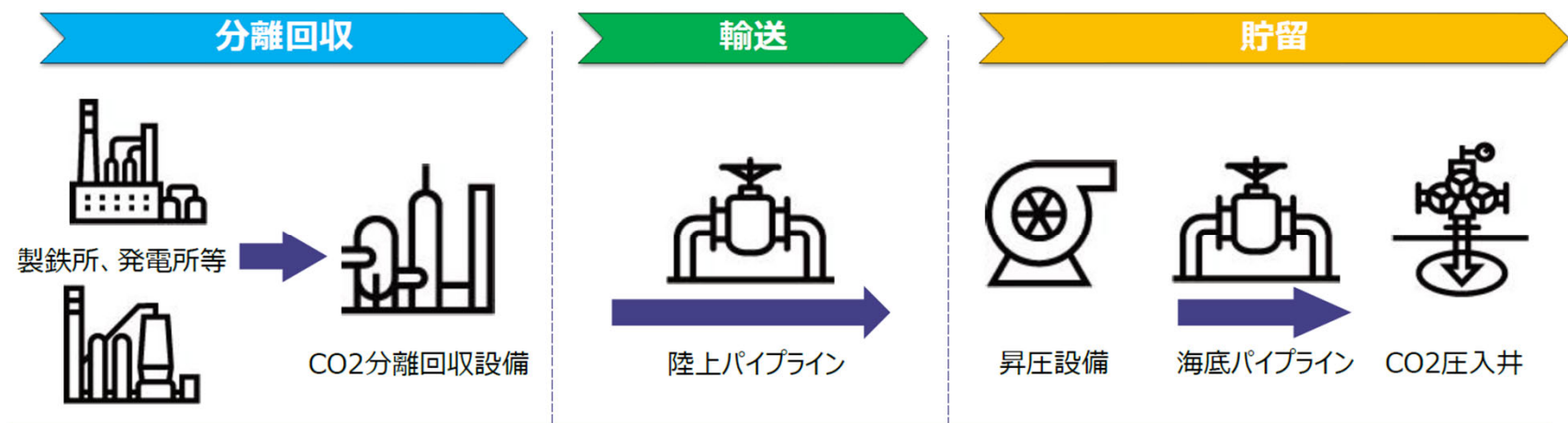
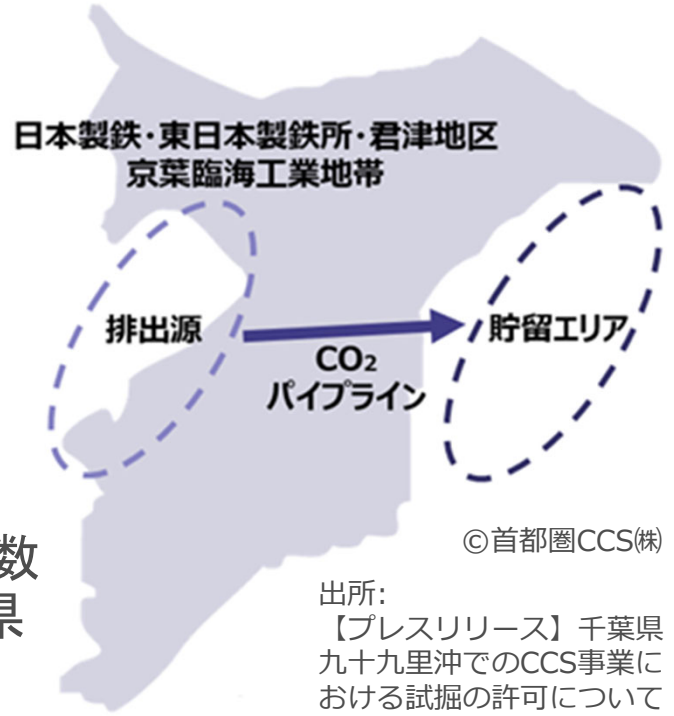
ヨウ素精製工程(後半工程)設備

2030年代目標:ヨウ素生産量 2,000t/年

# 【トピックス】首都圏CCS事業の進展 ～九十九里沖での試掘許可を取得～

首都圏CCS(株)は、特定区域でのCO<sub>2</sub>の貯留に適した地層の存在を確認することを目的とした試掘を行う事業者として、九十九里沖の特定区域における試掘許可を取得しました。

- CCS (Carbon dioxide Capture and Storage):  
二酸化炭素の分離回収・貯留
- 首都圏CCS事業:  
日本製鉄(株)東日本製鉄所君津地区及び京葉臨海工業地帯の複数産業から排出されるCO<sub>2</sub>を回収し、パイプラインで輸送した上、千葉県九十九里沖の海域において地中貯留することを目指すプロジェクト



出所:令和5年度「先進的CCS事業の実施に係る調査」首都圏CCS事業の成果報告

©INPEX

# 目次

1. グループの概要・・・3
2. 業績の概要等・・・ 18
3. グループの取り組み(トピックス)・・・ 25
4. まとめ・・・28

- **貴重な国産資源である天然ガスとヨウ素を生産・販売**
- 当社グループ鉱区内における可採埋蔵量は、ガスが**約600年分**、ヨウ素**約400年分**
- ガス事業は千葉県で天然ガスの**上流**（開発・生産）**から下流**（都市ガス供給）**まで一貫して行い**、エネルギーの千産千消を実現
- ヨウ素事業は**世界シェア約5%、国内シェア約15%**。世界的な需要拡大に対応すべく、グループ会社との連携、ヨウ素精製設備の増強、独自技術の活用などにより**供給基盤を拡充**
- 首都圏CCS(株)が千葉県九十九里沖の特定地域における**試掘許可を取得**
- 普通株式1株につき2株とする**株式分割を実施予定**  
（基準日：6月30日、効力発生日：7月1日）

## 最後に: 本日のお土産について

植物の生長を助ける「かん水フルボ酸」が配合されている植物用活力液「リキダス」をお持ち帰りいただけるようにご用意しましたので、ぜひご利用ください。

### 植物の生長を助ける「かん水フルボ酸」

#### 概要

- かん水はヨウ素成分以外にもいくつかの有用な成分を含有しており、その一つが「かん水フルボ酸」です。

#### 特長・用途

- 「かん水フルボ酸」は、植物の生長促進作用を持ち、現在、家庭用園芸肥料への添加物として採用されています。

#### 詳細

- フルボ酸は、動植物の遺骸が長い年月をかけて自然界で分解や重合を繰り返して出来る茶褐色の有機物で、腐植物質の一種です。土の中の各種ミネラルと結合し植物への吸収を促進することにより、植物の生育を高めます。



## 本資料のお取り扱い上のご注意

- 本資料は当社をご理解いただくために作成したもので、当社への投資勧誘を目的としておりません。
- 本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
- 本資料中の情報によって生じた影響や損害については、当社は一切責任を負いません。
- 本資料の一切の権利は当社に属しており、方法・目的を問わず、無断で複製・転載を行わないようお願い申し上げます。

お問い合わせ先： K&Oエナジーグループ株式会社 総務部 0475-27-1011